

バセドウ病 放射性ヨード内用療法のご説明

患者氏名:

日付	入院日または治療決定日～治療準備期間 (/) ~ (/)	放射性ヨード内用療法(/)	放射性ヨード内用療法後の観察期間 (/) ~ (/)	退院日(/)
検査	<ul style="list-style-type: none"> 胸部レントゲン、心電図 採血(適宜週1~2回)、検尿、検便 腹部エコー 甲状腺エコー 甲状腺シンチグラフィ (必要に応じて眼窩MRI、甲状腺穿刺吸引細胞診、骨塩定量などを行います) 	・適宜血液検査を行います(週1~2回前後) 	・適宜血液検査を行います(週1~2回前後)	
治療		<ul style="list-style-type: none"> 放射性ヨード内用療法:RI検査室で治療用のカプセルを内服します 内服前後に嘔気や気分不良があれば必ずおっしゃって下さい カプセルの大きさは約18×6mmです 実物大です→  	<ul style="list-style-type: none"> 放射性ヨード内用療法後、約1週間後から甲状腺のホルモンをおさえる薬(抗甲状腺剤やヨウ化カリウム丸)を開始します 甲状腺ホルモンの経過によっては、上記薬剤は使用しないこともあります 早期に甲状腺ホルモンの早期の調整が必要な場合は、予定を繰り上げて、適宜内服薬を開始します 	
その他の内服薬	・放射性ヨード内用療法の準備として、抗甲状腺剤(メルカゾール・チウラジール)を内服されている場合は、(/) から内服を中止します			・必要な方には退院時のお薬が出ます 
受診	・必要のあるかたは、適宜眼科や循環器内科を受診していただきます(バセドウ病では、経過中に目や心臓の症状がでることがあり、その評価、治療目的です)			
安静度	<input type="checkbox"/> 院内自由 <input type="checkbox"/> 病棟内自由 <input type="checkbox"/> 病室内自由 <input type="checkbox"/> ベッド上安静 ・治療前後、甲状腺機能は不安定になりますので、安静が必要です。階段の使用は控え、ゆっくりと歩くようにしてください。 ・動悸、発汗、発熱などがある場合や、体調不良時は、病棟外へは行かないようにしてください	・放射性ヨード内用療法後は、指示があるまで、妊娠中の方や15歳未満のお子様との面会はお遠慮下さい 		
食事	・ヨード制限食 (<input type="checkbox"/> カロリー制限 kcal、 <input type="checkbox"/> 塩分 g) 入院中は水やお茶の制限もあります	ほとんどの食品にはヨードが含まれているため、原則的に間食は禁止です やむをえず必要な場合は主治医にご相談下さい		・(/) ヨード制限解除
観察	・適宜血圧(朝夕2回前後)、脈拍(朝夕2回前後)、体温(朝1回)、(糖尿病または糖尿病の疑いのある方については、血糖)を測ります			
清潔	・入浴・シャワーは原則可能です			
説明・書類	・医師から入院時説明があります ・看護師から入院時オリエンテーションがあります		・退院前または退院日に退院時の病状説明があります(/)	